

令和6年度（さくら級）学年経営についての振り返り

年度当初に示した学年経営方針とそれぞれの学校評価をもとに、学年の活動を振り返ります。

学年教育目標

かしこく・やさしく・たくましい子の育成

- ・まわりの人の考えをきいて、考えられる子
- ・友達のことをわかって、友達と一緒に過ごせる子
- ・自分のことがわかって、自分を好きな子

今年度の重点目標

- ・やさしい話し方 あたたかな聴き方をしよう
- ・自分で考え、良いと思ったことは進んで実行しよう
良くないと思ったことは、しない強さをもとう

学年経営方針

- 1)一人一人に確かな学力を育む学校 2)みんなが尊重し合う学校 3)みんなが元気で健康な学校 4)保護者・地域から信頼される開かれた学校 5)ともに学び合い支え合う教職員(チーム上作延)

1) 確かな学力の育成 「学ぶ楽しさ」

○ともに学び、高め合う喜びを実感できる授業づくり
・毎年行っている季節や行事に合わせた作品づくり・誕生日会、クッキング、音楽、ダンスなどさくら卒業式に向けての取り組みに加え、今年度は「かわさきのうた 8 小節プロジェクト」に参加した。様々な合同学習を通して協働的な学びを充実させることができた。

○支援教育の充実

・個々の特性や能力に合った支援計画の作成し、特性や発達段階に合った教材教具を工夫することで、個別最適な学びの実現を目指し、個々の資質や能力を高めることができた。

○GIGAスクール構想の推進

・GIGA 端末を活用し、動画教材を視聴したり、支援教育に効果的なアプリを導入したりして、学習に役立てることができた。

3) 健やかな心身の育成と安全・安心な学校生活づくり「安心・安全」

○心身ともに安全で健康な生活を自ら実践する態度の育成

・自分に合った心の開放やクールダウンの方法を知り、明るい気持ちで過ごせるよう支援する。

○安全教育の充実

・医療的ケア児対応の災害時のマニュアルに沿って訓練を行った。
・様々な機会を通して災害や犯罪、事故など起こりうる様々な危険から身を守るための知識を伝え、もしもの時にどう行動したらよいのか考える機会を設けた。

4) 地域に根ざした特色ある学校づくり 「つながり」

○開かれた学校づくり

・必要に応じて保護者や放課後デイサービスなど関係各所との面談、相談や参観の機会を設け、連携して児童の支援にあたってきた。

○地域への愛着と誇りの確立

・2年生と一緒にサツマイモ苗植えと収穫に参加した。また、お誕生日会に獲れたサツマイモで茶巾絞りを作って食べた。地域の産業やそこに携わる人への理解や愛着を深めることができた。

2) 豊かな心とたくましい実践力の育成 「自主 認め合い」

○自尊感情を高め、豊かな人間関係を築く教育の充実・

・一人一人のそのらしさを大切にし、得意なこと、できるようになったこと、頑張っていることにスポットを当て、自己有用・肯定感をもたせるよう、声かけしてきた。また、自分や友達のよさに目を向けられるような活動を取り入れ、自分や友達を好きになれるよう促してきた。

○夢や希望をもち主体的に活動する態度の育成

・なりたい自分を具体的にイメージさせ、そうなるにはどんな力が必要か、その力を養うためには何をしなければならぬかを一緒に考え、実践してきた。

○児童理解、教育相談の充実

・日々の連絡帳で情報共有したり、必要に応じて面談を行ったりして保護者との信頼関係を構築し、連携して児童の支援にあたってきた。

5) 教職員の指導力の向上 「組織として動く チーム力」

○児童理解力・指導力の向上

・中央支援学校の巡回を要請し、助言を受けて支援の充実を図った。
・各々が自身に合った研修を選択し、参加し、研鑽を積むことで、特別支援級の担任としての資質を高めることができた。

○支え合う学年担任の意識づくり

・一人一人が、さくら級に在籍する児童全員の担任であるという自覚をもち日頃から情報交換を密にし、共通理解の上で互いに協力して児童の支援にあたってきた。
・個々の得意分野や能力を生かし、適材適所で役割分担するとともに、互いにフォローし合いながら協力して学級を運営してきた。

かわさき教育プラン 「自主・自立」「共生・協働」

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

さくら級

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成